



ANDROID 向け

Avira Android (MAVAPI)

SDK

SDKはOSに価値を付加し、ユーザーとデバイスをマルウェアから保護します。サービスプロバイダーは、Aviraのマルウェア対策SDKを使用して、Androidデバイスにセキュリティを統合できます。これはブランドにとってのメリットになるだけでなく、Android OS上の脅威や脆弱性から顧客を保護します。ハードウェアメーカーは、Avira のマルウェア対策 SDKを使用して、OSにセキュリティを追加しプラットフォームを保護することができます。これは、競争市場における重要な差別化要因となります。

Avira Android

SDK

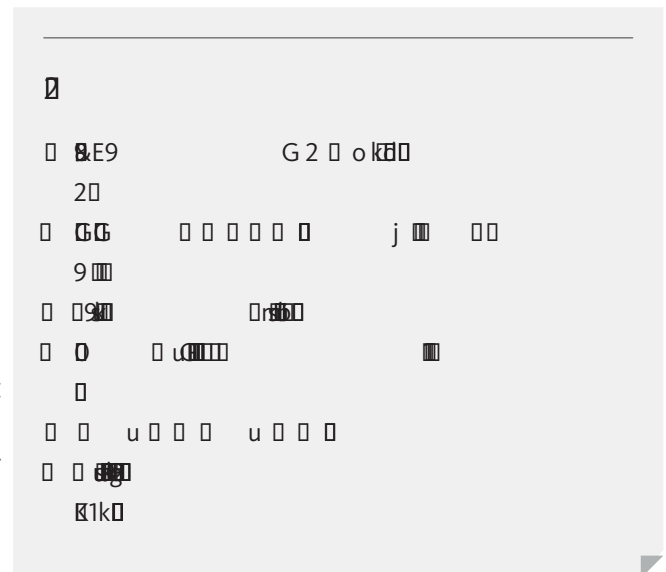
Android

SDK

Protection Cloud

Avira

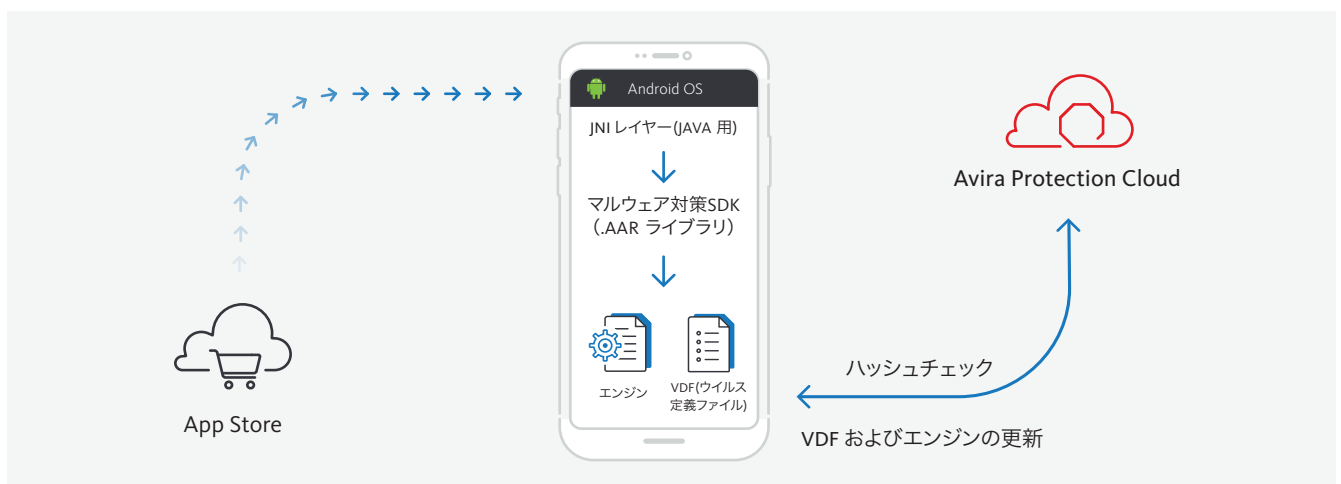
SDK



アプリケーション

Android プラットフォームでは、強化されたセキュリティが必要な場合が多く、AndroidベースのカスタムOSの開発者は、効果的なセキュリティソリューションを構築しにくく感じる場合があります。

マルウェア対策 SDK





統合

マルウェア対策 SDK は、軽量のシステムフットプリントで高品質のマルウェア対策スキャンを提供できるように設計されています。また、Aviraスキャン エンジンのすべての機能にアクセスするJava Native Interface(JNI) が搭載されています。テクノロジーパートナーに提供されるライブラリにより、インテグレーターはスキャンエンジンの初期化、オプションの設定、ファイルのスキャンを行うことができます。この機能は、優れた性能とリバースエンジニアリング対策のために、ネイティブC言語で実装されたJAVA APIを介して利用できます。

マルウェア対策 SDK ライブラリを使用するアプリケーションは、実行時にライブラリをロードするか、コンパイル時にライブラリとリンクします。次に、ライブラリAPI が呼び出されて、初期化、設定、スキャンなどが実行されます。マルウェア対策 SDK ライブラリは通常、ライブラリ関数とバインドして通信するために提供されたJNIラッパーコードを使用し、JAVAアプリケーションからアクセスされるようになっています。また、オプションの Avira Protection Cloudでのハッシュチェックは、帯域幅のオーバーヘッドも最小限で、スキャン性能を向上できます。

仕様

サイズ:

再配布可能な1.12MBの.AARモジュール

対応OS/ハードウェア:

Android4.4(APIレベル19) およびARMv5TE

コンテナおよびアーカイブ対応:

APK/ZIP, RAR, TAR, GZIP, DEX

マルウェアのタイプ:

Androidアドウェア PUA SPR
(セキュリティプライバシールスク)

SDK のコンテンツ:

MAVAPI ライブラリ

MAVAPI ヘッダーファイル

MAVUPDATE (Aviraアプ データー

ライブラリ)

包括的なドキュメントおよびSDKの使用例

APIの説明

プログラミング例

OUR AWARDS



FIND OUT MORE

Website: oem.avira.com

Email: oem.avira.com

Blog: insights.oem.avira.com

Social Media: [@AviraInsights](https://twitter.com/AviraInsights)

Europe Middle East, Africa

Avira
Kaplaneiweg 1
88069 Tettngang, Germany
Tel: +49 7542 5000

Americas

Avira, inc
c/o WeWork, 75 E Santa Clara Street
Suite 600, 6th floor San José
CA 95113 United States

Asia/Pacific and China

Avira Pte Ltd
50 Raffles Place
32-01 Singapore Land Tower
Singapore 048623

Japan

Avira GK
8F Shin-Kokusai Bldg
3-4-1, Marunouchi Chiyoda-ku
Tokyo 100-0005, Japan

China

中国北京市朝阳区东方东路19号
外交办公大楼D1座17层1727室
邮编: 100016